

新体制で門信徒会の活動が始まりました!

— 新しい門信徒会長に千原博幸氏が就任 —



塚間川沿いの見事な花街道 (26.5.4)



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会(であ)いの時間

小僧の目

▼このところ少子高齢化時代を迎えて相続についてよく問題となることが多い▼相続と言うと財産や遺産の相続が頭をよぎる。相続とは遺産を受け継ぐことばかりでなく、戸主の身分に伴う権利や義務も同時に受け継ぐことであり、場合によっては負の財産も相続することになる▼このような形や物の承継は勿論であるが、ここで大切にしたいのは目には見えない命や心の相続である▼核家族や二世帯住宅などによる生活様式の変化と、それに比例して親子関係の絆が希薄になって、その家々の古き?伝統の良さや習慣が受け継がれ難くなっている▼味噌汁や漬物・煮物に代表される「おふくろの味」も何か遠い昔の話になりつつあるような気がする▼朝晩の挨拶と同じようにお仏壇(阿弥陀様)の前でお経を上げたり、おまいりする親の姿も少なくなつたと思うのは「小僧の目」一人の思い過ぎでしょうか▼ましてや、お寺を中心に親鸞聖人の明らかにされた本願念佛の教えを受け継ぎ、次代に伝えていくことは至難なことである▼敬念寺はおかげさまで、みなさまの会、門信徒会が組織され各種教化活動を通して、御教えに触れていたただく機会が多いことは幸いである▼昨年も「永代経」の趣旨を理解いただいた篤信の皆さんの、永代経懇志により私共は今生にいながら、彼岸の浄土を表す本堂内陣の、光輝く美しい荘厳に巡り合うことができた▼それは阿弥陀様の働きが光となって私たちを照らしてくださっている姿である▼今年は門信徒会の役員も一新し、新しい年が始まった▼お寺が聞法の道場、お念仏の教えを相続していく教化伝道の場として、その機能をいよいよ高めていきたいと思う。

釋 玄真

ご寺院行事

- 6月15日(日) 第3回早朝公開講座 前 7:00
講師 秋山深雪先生(茨城県)
- 7月12日(土) 第31回ファミリー参拝 後 6:00
- 8月1日(金) ~10日(日) 第35回早朝連続参拝
- 8月16日(土) 孟蘭盆会法要 前 5:30
前 10:00

ご定例会話会

- 6月20日(金) 講師 高橋純明先生 (新潟県)
- 7月20日(日) 講師 遠山信敬先生 (福井県)
- 8月20日(水) 講師 常盤井智行先生 (飯山市)
- 9月20日(土) 講師 丸山文雄先生 (新潟県)
- 10月20日(月) 講師 岡崎聖舟先生 (京都府)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

平成二十六年年度年次総会開催さる 大洞軍治会長退任、新会長に千原博幸氏を選出

平成二十六年年度敬念寺門信徒会年次総会が四月二十六日開催された。勤行に続き、新任お世話人の紹介と委嘱が行われた後、六十六名のお世話人の出席を得て総会を開会、議長に山田正四郎氏を選出し議案審議が行われた。総会の冒頭大洞会長から挨拶があり、「総会は、毎年新しいかたちや進歩をめざす。今回は規約改正を提案したい。」と述べられた。

議事に入り、平成二十五年度事業・決算報告が会長・各委員長から報告され、これを承認。

続いて、現在常任委員会構成員である、教化委員会副委員長に加え、会報及び財務の副委員長も同構成員とする規約改正を承認。

次に平成二十六年度事業計画及び予算も原案どおり承認された。

最後に、任期満了に伴う役員改選について審議。当日設置された役員選考委員会の推薦により、新役員が満場一致で承認され、新しい門信徒会長千原博幸氏をはじめとする新役員体制が発足した。

新役員の自己紹介、新会長挨拶の後、退任役員の挨拶があり、大

洞前会長からは、昭和五十四年の壮年部結成準備委員会委員から門信徒会長まで三十五年間歴任した各役職を振り返りながら、長年に渡りお寺の仕事ができたことへの感謝の言葉が述べられ、出席者は大きな拍手でその労を讃えた。

議事終了後のご任職挨拶では、社会の変化・変容に対応していくべきお寺の課題等について、新体制の役員とともに、新しい形で歩みを進めていきたいと話された。

門信徒会長就任挨拶

新会長 千原 博幸



いつも門信徒会の事業に参画・協力を戴き、有難うございます。これまで、長年にわたり教化活動の推進を担当させて頂いておりましたが、この度の役員改選で大洞前会長の後任を仰せつかり、身の引き締まる思いです。

前任者であられる大洞さんのよ

うな人望・力量が、私にはありませんが、ご任職を始めとする寺族の方々、総代・門信徒会役員・お世話人の皆様のご指導、お力添えを戴く中で、微力ながら役目を務めさせて頂く所存です。

敬念寺及び敬念寺門信徒会は、住職さんや先達の方々の多大なご努力により、大きく発展してきましたが、この先を見通した場合には、お寺の将来に向けての課題や、門信徒各家庭における悩みがあるものと思います。それらの課題や悩みに向き合うと共に、「お寺にお参りすると心がホッと休まる」「宗祖親鸞聖人のみ教えが、親から子へ、子から孫へと繋がる」、そんなお寺となるように門信徒会として力を尽くしていきたいと思っております。

皆様方のお力添えご協力を引き続き賜りたく、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

門信徒会長退任のご挨拶

前会長 大洞 軍治



尊敬するご門徒で九十歳になる先輩にお会いし、挨拶させていた

だく時「お元気で何よりですネ」と言う。「いやいやお蔭様で今日まで生かされている、有り難いこと」と笑顔で返答があります。

考えるに、人も我も「不老長寿」を願い、食と薬に頼り、そのために財を使い我が身の体調に一喜一憂の日が今日も過ぎていきます。

『明日も生かされているだろうか』『生かされる・・・。誰が生かさせてくれるのか?』

浄土真宗の門徒として教えを信じ信仰を積み重ねてきて、自ずと『阿弥陀様に生かされている』、との尊い言葉が、我が口から発せられるようになりました。

三十数年間、門信徒会各部門役職を勤めさせて頂いたのも、ご住職のご指導と門徒の皆さんのお力添えのお蔭と心から感謝、感謝です。門信徒会長を退任するに当たり、我が家族と共に心からお礼申し上げます。

ご住職から記念に頂いた「掛け軸」に、『恋しくば南無阿弥陀仏を称うべし我も六字のうちにこそ住め』とあります。

その言葉を添えて、退任の挨拶に代えさせていただきます。有難うございました。



敬念寺門信徒会役員

自 平成二十六年四月
至 平成三十年三月

顧問 金松 玄
相談役 牛山 成一
" " " 宇都宮 正
" " " 山下 幸治
" " " 大洞 軍治

会長 千原 博幸
川岸 神明 山下 大栄 郷田



千原会長

【教化委員会】
委員長 鷹野原 仁
長地



鷹野原委員長

副委員長 新井 滋平
委員 宮嶋 一守
" " " 春谷 巻雄
" " " 牛山 節
" " " 吉田 龍司
" " " 松本 宣佳
" " " 北嶋 裕子
郷田 長地 塚間 天竜 大栄 神明 長地

教化運営委員

中島 俊一 川窪 輝子
武居 進 井上 利美
渋井 常則 川尻 政美
西山 周治 渡辺 和枝
藤本 輝子 荒井 晴男
栗岡 正治 石川美代子
一木千恵子 宮下アキ子
小松 滋子 滝川 育子
谷腰 富春

【会報組織委員会】
委員長 白田 正夫 下諏訪
副委員長 滝川 育子 長地
委員 玉舎興三郎 下諏訪
" " 尾崎 孝 神明
" " 筒井 清仁 川岸
会報運営委員 清水 博次 小島 眞
" " 角川 文人 川崎 展司
" " 吉田 徳人 内藤 欣也
" " 仲田 長晴 佐藤 孝一
松本 宣佳



白田委員長

【財務委員会】
委員長 谷腰 富春 川岸
副委員長 古屋 典章 湖畔
委員 西川 一昭 本町
" " 西條 幹治 大栄
財務運営委員 全地区世話人



谷腰委員長

【婦人部】
部長 宮下アキ子 大栄
副部長 小松 滋子 加茂
" " 北嶋 裕子 郷田



宮下部長

副部長 小松 滋子 加茂
" " 北嶋 裕子 郷田
監事 牛越 昭 長地
" " 小林 睦巳 郷田



牛越監事



小林監事

【新任】
お世話人の異動(敬称略)
長い間御苦勞さまでした
故 村上 定行 本町
故 木之下 嘉弥 山下
小林 辰弘 山手
村松 彰 中央
小平 修市 大栄
牛越 昭 長地
よろしくおねがいします

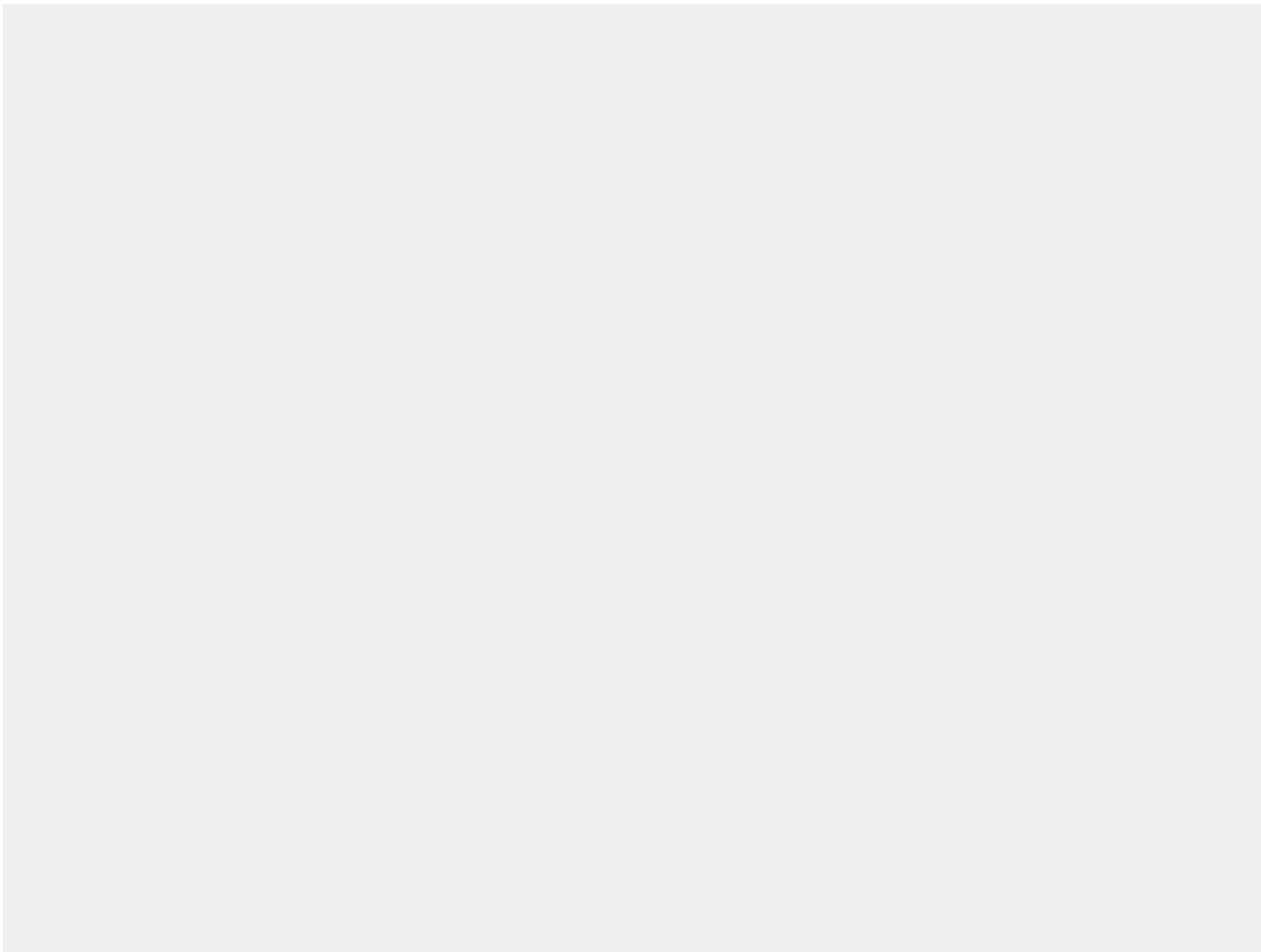
【新任】
村上 和男 本町
天木 広志 山手
竹腰 勇治 中央
宮下 隆 大栄
河元 康訓 長地
小松 真一 山下

退任・転任役員(敬称略)

在任中お世話になりました

監事 中島 俊一 山下
" " 胡桃 清志 長地
財務副委員長 望月 弘明 本町
会報組織委員 矢野 保夫 川岸
教化副委員長 宮嶋 一守 神明
教化委員 井上 利美 湊
教化委員 ↓ 教化運営委員に
小松 滋子 加茂





横川ケサエさんは、今年八十六歳になる元気な女性です。「さあさあどうぞ」と通されたお部屋には、お嫁さんの心づかいのお茶の用意がされていました。ケサエさんは昭和三年北安曇郡美麻村で六人兄弟の末っ子に生まれ、皆にかわいがられて育ちました。十九歳の時、岡谷の東芝に勤め川崎大師にある工場に三か月間出張、輝石科という超精密の仕事を研修。しかし、会社の都合で工

しょう しき
青 色
しょう こう
青 光
六十回

日々感謝の心で日暮し

横川 ケサエ さん
岡谷市大栄町

場が無くなりその後、米穀販売店に十五年位勤務されたそうです。今は「優しいお嫁さんに恵まれつつも幸せです。」とおっしゃいます。また、大恩ある方が寝たきりになってしまわれ介護を受ける姿を見て「自分は絶対寝たきりにならないぞ」と決心し、「歩け歩け運動」に千日通い岡谷市長から表彰を受けました。今は毎日お風呂に通い、月一回のカラオケにも通って若さを維持されています。

モットーをお尋ねすると、「人を傷つけず」、「我慢が大切」、「迷惑をかけない」と話され、懸命に生きてきた人生を振り返られました。

また、これからも大いに笑って生きていきたいと話され、「ありがとう」「頼むね」「ご苦労様」の言葉を常に口にしながら心穏やかに日々過ごしているとのこと。

優しいお嫁さんや、お孫さんたちに囲まれ幸せなケサエさんは大きな声でよく笑い、年を重ねられた想いを次から次とお話ししてくださいました。

そして最後に、ケサエさんの日暮しをいつも見守っていてくださる阿弥陀様に、「日々感謝して手を合わせています。」と話されて、合掌されました。

(滝川 記)



退任の挨拶をする大洞氏ほか旧役員



総会の様子(26.4.26)

―門信徒会年次総会の写真―



おじいちゃんの隣に大樹くん(26.4.27)

「おはようございます!」
 このところの日曜礼拝で、ご住職様のご挨拶に答え、「おはようございます!」とかわいらしい声が本堂に響き、思わず皆に笑顔が広がります。
 声の主は五歳の木下大樹くん。五年生・中学生のお姉さんやお母さん、おじいさん、おばあさんを自分から誘って、ひいおばあさんのお参りにやってきました。
 読経中も経本を開き、一生懸命声を出しています。お寺に参拝している姿は、ひいおばあさんをご縁に、阿弥陀様に招かれているかの様に感じます。

トピックス!
―本堂に大樹くんの声が響く―



婦人部総会の様子(26.5.6)

婦人部も始動!
―婦人部総会開催
新役員決まる―



岡谷市上の原
武田勝氏父33回忌で(26.4.29)

シリーズ 住職さんといっしょ!
No.1 ―武田氏のお孫さん
岸田滉生くん―

門信徒会費

七月末日までに「ご協力お願い」
今年も寺の維持管理の資金、更なる教化活動の振興のため、会費のお願いに担当のお世話人が近日中にお伺いしますが、ご協力の程お願いします。
○「依頼額は年間三千元以上」

編集後記

門信徒会総会が開催され、新役員体制による今年度の門信徒会活動が始まりました。長年会長としてご尽力された大洞様に皆様と共に感謝申し上げます。
 前号で、当時教化委員長であった千原博幸新門信徒会長の投稿記事「敬念寺の教化活動く現状と展望」で述べられているように、「お寺の教化活動への参加対象者は、特別な人ではなく全ての門信徒の方々です。」
 朝七時からの日曜礼拝、毎月二十日の定例法話会はじめ、今年度も教化事業が行われます。「永代経懇志」により立派に修復荘厳され光輝く敬念寺本堂は、お浄土の姿を現して、皆様のご参拝をお待ちしています。亡き人の月命日や祥月命日などのご縁の日に、ぜひご参拝ください。
 (白田 記)